



### 令和5年度船橋市自治会連合協議会収入支出決算書 (自 令和5年4月1日～至 令和6年3月31日)

[収入] (単位:円)

項目	予算額	収入額	比較(△減)	説明
1. 会費収入	5,970,000	5,944,920	△25,080	会費@30円×198,164世帯
2. 市補助金	9,000,000	8,680,400	△319,600	事業費補助金
3. 繰越金	7,015,024	7,015,024	0	令和4年度からの繰越金
4. 諸収入	60,976	57,591	△3,385	広告掲載料(明推協)、利息他
収入合計	22,046,000	21,697,935	△348,065	

[支出] (単位:円)

項目	予算額	支出額	比較(△減)	説明
1. 総務費	5,734,000	3,334,165	2,399,835	
(1) 会議費	1,544,000	1,094,834	449,166	
旅費	1,394,000	960,000	434,000	執行部会、常任理事会等会議旅費
運営費	150,000	134,834	15,166	総会、執行部会、常任理事会等会議運営費
(2) 渉外費	1,060,000	534,652	525,348	
渉外費	1,000,000	463,918	536,082	地区催事祝儀、会長・副会長旅費等
慶弔費	60,000	70,734	△10,734	香典、弔電等
(3) 事務管理費	3,130,000	1,704,679	1,425,321	
文具費	150,000	58,661	91,339	事務用消耗品等
印刷費	2,200,000	1,313,931	886,069	総会資料印刷、電子複写機使用料等
郵送料	750,000	332,087	417,913	各種通知、資料等郵送料
備品購入費	0	0	0	
備品修繕費	30,000	0	30,000	
2. 事業費	7,760,000	6,270,006	1,489,994	
(1) 自治振興費	5,940,000	4,632,442	1,307,558	
地区活動費	4,290,000	4,214,060	75,940	地区連助成金
行事運営費	500,000	382,382	117,618	新春懇親会開催費用
調査研究費	1,000,000	0	1,000,000	視察研修費
組織対策費	150,000	36,000	114,000	ブロック会議費
(2) 表彰費	470,000	454,024	15,976	表彰状・感謝状印刷、記念品、筆耕料等
(3) 部会事業費	1,350,000	1,183,540	166,460	部会・委員会活動費
3. 会報発行費	3,600,000	3,247,640	352,360	会報発行費(2回)
4. 雑費	10,000	0	10,000	
5. 予備費	4,942,000	154,200	4,787,800	補助金返還分他
支出合計	22,046,000	13,006,011	9,039,989	

収入金額 21,697,935円  
 支出金額 13,006,011円  
 差引残高 8,691,924円 (次年度への繰越金)

上記のとおり会計決算報告いたします。  
 令和6年4月5日  
 船橋市自治会連合協議会  
 会計 池戸 康夫

### 令和5年度中の会員数の増減

	自治会数	世帯数	自連協加入数	加入世帯数
令和5年3月	890	206,870	777	201,781
令和6年3月	892	206,037	772	200,576
年度中の増減	2	△833	△5	△1,205

### 令和5年度中に結成された町会・自治会

- ①ブルーガーデン二和西 12世帯 (二和地区)
- ②ブルーミングガーデン南三咲3丁目20棟自治会 20世帯 (三咲地区)
- ③パークヒルズ坪井町内会 78世帯 (坪井地区)
- ④二和西3丁目ハートフルタウン町会 15世帯 (二和地区)
- ⑤グラファール三咲7丁目自治会 19世帯 (三咲地区)
- ⑥グラファール二和西2丁目自治会 11世帯 (二和地区)
- ⑦グラファール二和西23期自治会 13世帯 (二和地区)
- ⑧パークホームズLaLa南船橋ステーションプレミア自治会 37世帯 (湊町地区)

### 令和5年度中に解散された町会・自治会

- ①パークハウスプレシア自治会 110世帯 (湊町地区)
- ②ダイアパレスステーションプラザ船橋本町自治会 73世帯 (本町地区)
- ③千葉県水道局高根台職員住宅自治会 6世帯 (高根台地区)
- ④興和芝山自治会 20世帯 (新高根・芝山地区)

## 令和5年度 自連協活動

船橋市自治会連合協議会は、令和5年度事業計画に基づき、その活動を次のとおり行いました。

令和5年度は、新型コロナ禍もようやく下がり、平常業務に戻りつつある状況となりました。

これまで3年余にわたる、コロナ禍のための活動は自粛となり、新型コロナウィルスが「2類相当」から「5類」に移行され、平常時に戻る年となりました。

昨年度は、感染症拡大防止のために会議等の開催が自粛中止に追い込まれ、十分な活動ができませんでした。令和5年度は総会も開かれ、提出された「議案」は常任理事会の審議を得て

可決され、コロナ禍後の事業をスタートさせました。

本年度の活動実施については、このような状況の中で、事業計画に基づき実施した事業を次のとおり報告します。

1. 会議  
 常任理事会(7回)、執行部会(通常開催12回)、部会委員会(22回)開催されました。

総会は令和5年6月4日(日)船橋市役所11階大会議室で開催。

豊かな地域社会づくりを目指して、住民自治の推進

と行政及び関係団体との連携を図り、地域における共通課題の検討と協議会運営に必要な事項の審議を行い提出議案すべてが原案通り承認可決されました。

2. 地区連を中心とした  
 広域的活動  
 本会常任理事会で決定された事項を周知の上、地区として各種イベントを開催し、親睦と友和が図られました。

3. 地区ブロック会議の  
 開催状況  
 地域の中で共通する諸問題、課題への対応や対策を推進するため、地区ブロック会議を開催しております。

令和5年度は東部、中部ブロックの開催のみとなり、情報交換と意見交換が行われました。

4. 視察研修  
 計画はしたもののコロナ禍のため中止となりました。

一方、市民の会との共催でいわき市を視察し、自然災害に対し日頃から備えることの大切さを実感し災害時対応の基本を学びました。

5. 新春懇親会  
 町会・自治会長、来賓の出席のもと各地区間の情報交換等が行われ、相互の親睦を深め、フードロス防止対策の導入と義援金活動に

協力しました。

6. 表彰  
 規程に基づき各地区慶弔行事に参加しました。

7. 表彰  
 本会表彰規程に基づき、町会・自治会に功績のあった方々(表彰状30名、感謝状49名)を表彰しました。

8. 諸団体との連携  
 市民の代表として、市民生活に関する審議会、協議会等の会議や行事に参加し意見を述べました。

令和5年度中にお亡くなりになられた  
 役員・理事の方  
 「自治会活動に貢献された功績を称えるとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。」

- 金杉台分譲自治会 会長 齋藤 正 伸 様
- 三山ニューレゾナンス自治会 会長 中 洞 好 博 様
- 大慶山住宅自治会 会長 庄 司 孝 憲 様
- 八丁歩町会 会長 平 川 道 雄 様
- すずきが丘自治会 会長 齋 藤 忠 利 様

## 部会・委員会活動

①広報、②防災、③環境衛生、④青少年教育、⑤福祉、⑥防犯6部会を特別委員会として、⑦組織対策、⑧不法駐輪防止、⑨まちづくり活性化3委員会を設置し、各常任理事が業務を分担し、事業の推進を図りました。

1. 広報部会  
 広報紙「自連協だより」は、例年3回(1月、5月、9月)発行し、各地区で取り組んでいる各種事業、情報等の発信を行っており、令和5年度は、定期総会(6月)後と1月、2回発行しました。

2. 防災部会  
 (1)総合防災訓練  
 11月26日総合防災訓練を全市民参加型で実施しました。

(2)防災フェアふなばし  
 令和6年1月20日防災フェアを実施し、災害時に

3. 環境衛生部会  
 資源ごみ分別の徹底と可燃ごみ減量の推進、温暖化対策として省エネに向けての意識向上に努め、市行財政改革事業の推進に役立てます。

4. 青少年教育部会  
 地域の教育力向上をめざして、青少年健全育成と教育団体との連携を強め、地域における諸問題に取り組みました。

5. 福祉部会  
 消費生活安全確保と要支援者支援事業に取り組ま

6. 防犯部会  
 (1)「電話de詐欺」防止の啓発活動を実施するとともに、「安全安心なまちづくりに句間」を復活し、安全宣言を行いました。

7. 組織対策委員会  
 今年度は、コロナ禍の収束を受け、4年ぶりに会長研修会(セミナー)を開催することとし、地域活性化・まちづくりコンサルタント 水津陽子氏による講演会を実施しました。

8. 不法駐輪防止委員会  
 放置自転車対策に係る複数の協議会の活動及び委員活動や会議などを中心に、その改善に取り組まれました。

9. まちづくり活性化委員会  
 自治活動活性化に向けて必要な取組みと多くの課題について検討を重ねて、地域での各種団体・住民全体で考慮する体制づくりを構築しその必要性に対応していきます。

10. 諸活動  
 (1)全国自治会連合会  
 都道府県の住民組織を母体とする「全国自治会連合会」に参加し、共通課題の解決に努めました。

(2)近隣7市住民組織代表者会議に参加、情報交換。

(3)千葉県自治会連合会への参加と情報交換。



# 視点

## 避難所運営委員会を考える

今年1月の能登半島地震に限らず、大地震が発生し、家屋が倒壊したり、ライフラインが止まってしまったような場合、避難所開設は必ずです。そして被災者の集団避難生活をできる限り円滑に、秩序を保ちながら維持するためには、被災者同士で、避難所運営委員会を組成して、行政の災害対策本部等と連携、連絡を取りながら運営していかなくてはなりません。公助として行政が何とかやってくれたらという期待はほとんど持てないのが現実です。行政職員も被災者であることは間違いない、仮に出勤できなくても市内各所の避難所に対する各種連絡調整、支援に追われることは

想像に難くありません。まさに自助・共助で対応とよく言われるのはそのためです。それでは、避難所運営はどうすればいいのか。私たち船橋市民の大多数はこれまでそうした経験を全く持っていません。もちろん行政が主導する平時における総合防災訓練等を通じて避難所運営の訓練を受け、基本的な受け入れ体制や資機材取り扱いなど経験した方は少なくありませんが、万一避難生活を余儀なくされたとき十分機能する保証はありません。そこで、平時から避難所運営委員会又は運営協議会を設け、町会・自治会長・自主防災組織の方々が中心となって研修、体験をしていくという機

運が高まっています。自連協としても令和6年度の重点課題の一つとして取り組んでいくと考えています。

### ③ 会合日の決定と開催通知

船橋市には55の小学校、26の中学校がありますが、令和6年3月時点で市内には11か所避難所運営委員会が設立されています。今年度は、できれば全校に設置することが望ましいと思えます。誰が発起するか。現状では24コミュニティ地区連絡協議会に主導していただくしかありません。

そこで既設協議会の経験から設立の手順や展開を次のように考えてみました。

### ① 地区内小中学校を避難所とする

町会・自治会の把握  
総合防災訓練時に危機管理課から目安となる募集地番等が示されていますので参考にしたいと思えます。

② 施設管理者である学校長、教頭の理解と協力  
これなくして設置することはできません。平日であれば夜間の開催、高齢者や女性が多く夜間を避ける場合は土日の午前午後、当然先生方の残業、休日出勤となります。事前の理解、了承が必要です。

### ⑤ 避難所運営アクションシート

危機管理課では、避難所運営マニュアルを基に各校ごとのアクションシートを作成し、各避難所の防災倉庫に保管してあります。

### ⑥ HUGの活用

会議では、顔の見えない関係づくりや共通の問題意識を持つためHUG(避難所運営ゲーム)の活用を目的として、毎年この時期に開催されるもの

が挙げられます。そのほかおやじの会がある所は参加してもらっています。

会長等役員が1年で交替するところが多い現状から継続性を保つためにも作成が必要で、内容は一般的なもので、名称、目的、構成(参加町会等)、事務局(平時・災害時)、活動、避難所マニュアルに沿った班構成、役員、同任務、会議開催要件、経費、改正、施行日等が考えられます。危機管理課でひな形を作成しています。

知識、経験を深めていくことが、万一の際に役立つことを期待しながら平常時活動に取り組みで頂ければと願っております。

会長 早川 淑男

用も有効です。いずれにしても、大地震はいつ起こるかわかりませんが、いつ起きてもおかしくない昨今です。皆さんで少しでも共通意識を持ち、

計画・確認・修正

訓練(検証)

避難所

運営参画

自主防災

少しでも共通意識を持ち、

令和6年2月9日「青少年教育部会と市民の会」の合同講演会が中央公民館講堂で行われました。

講師には、公務多忙の中、船橋市長 松戸 徹 様にお願いました。

会場には、自連協、市民の会、PTAの他に市内の皆等169名の皆様にご参集頂きました。

講演に先立ち、船橋市長からは市の現状について説明を頂き、人口が令和6年1月現在で、648,331人で千葉県総人口の10%以上で、政令指定都市を除くと一番人口が多い都市であり、令和5年10月時点で15、64歳が64%、高齢化率24%(全国は28%)になっています。

市内には9路線35駅と全国で有数の発達した鉄道網があり、市の人口増加の要因と考えられます。

能登半島地震被災地に市は1月14日から4回に渡り医療センター災害派遣医療チーム5名や保健師・一般事務各2名を継続的に派遣した際の被災地の諸々の状況の話をさせて頂きました。

子供時代に船橋で音楽を経験した教師約50人が市内の学校で現在、子供たちの指導をしている事も音楽教育に大きな影響を与えています。

②令和3年10月取掛西貝塚が、市初の「国史跡」に指定され、国内最古とされる「動物儀式跡」とみられる遺跡も発見され、今後の考古学調査に期待が持たれます。

③子ども未来会議は、「市長になったら何がしたい」をテーマに夏休みに、中学校27校と特別支援学校の生徒が市長と直接ディスカッションしています。

この提案は全て市の担当者が検討して回答し、「ボール遊びが出来る公園」は検討委員会で協議し、平成27年から実施しており、ボール遊びをしている子供達の楽しそうな姿が見られています。

などの話がありました。

質疑応答では、建設的な質問や多様な意見があり、充実した講演会になりました。

講演会の開催にご支援、ご協力を賜りました皆様へ感謝を申し上げます。

青少年教育部会長 加瀬 武正

# 部会だより

## 令和5年度「防災フェアふなばし」開催



講演会 講師 松島 康生氏



アマチュア無線 実演



ボランティア活動の展示

1月20日(土)市民文化ホールで船橋市、船橋市自治会連合協議会の共催による「令和5年度防災フェアふなばし」を開催しました。

この催しは平成7年に起きた阪神・淡路大震災を契機に定められた「防災とボランティア週間」(1月15日〜21日)に合わせて、い

つ起こるかわからない大規模災害に対して、広く市民が災害への備えや地域での防災活動に関する意識を高め、地域防災力の向上を図

近年はコロナ禍により参加者数の制限や展示・実演等が縮小されてい

また、講演の講師には、ニュース番組にも多数出演されている、災害リスク評価研究所災害リスクアドバイザーの松島康生氏を迎え、「災害リスクを正しく知って自助・共助で備える防災対策」と題し、大地震への実践的な対策について、自

助として具体的に何を準備すればよいか、共助として近所との関わり方など日頃からのような取り組みを行えばよいのか、水害に対する教訓や対策などを写真や地図を用いてわかりやすい講演で聞き入ってしまい、気づけば講演終了時間となっていました。

一人ひとりが、防災意識を高く持ち、自分の命や身体は自分で守るという自助の意識を高めていくとともに、地域や近隣同士で助け合う共助の力が大切です。

この日の催しがいざという時の減災に役立つことを期待したいと思えます。

防災部会長 坪木 昌弘

## 青少年健全育成講演会

令和6年2月9日「青少年教育部会と市民の会」の合同講演会が中央公民館講堂で行われました。

講師には、公務多忙の中、船橋市長 松戸 徹 様にお願いました。

会場には、自連協、市民の会、PTAの他に市内の皆等169名の皆様にご参集頂きました。

講演に先立ち、船橋市長からは市の現状について説明を頂き、人口が令和6年1月現在で、648,331人で千葉県総人口の10%以上で、政令指定都市を除くと一番人口が多い都市であり、令和5年10月時点で15、64歳が64%、高齢化率24%(全国は28%)になっています。

市内には9路線35駅と全国で有数の発達した鉄道網があり、市の人口増加の要因と考えられます。

能登半島地震被災地に市は1月14日から4回に渡り医療センター災害派遣医療チーム5名や保健師・一般事務各2名を継続的に派遣した際の被災地の諸々の状況の話をさせて頂きました。

子供時代に船橋で音楽を経験した教師約50人が市内の学校で現在、子供たちの指導をしている事も音楽教育に大きな影響を与えています。

②令和3年10月取掛西貝塚が、市初の「国史跡」に指定され、国内最古とされる「動物儀式跡」とみられる遺跡も発見され、今後の考古学調査に期待が持たれます。

③子ども未来会議は、「市長になったら何がしたい」をテーマに夏休みに、中学校27校と特別支援学校の生徒が市長と直接ディスカッションしています。

この提案は全て市の担当者が検討して回答し、「ボール遊びが出来る公園」は検討委員会で協議し、平成27年から実施しており、ボール遊びをしている子供達の楽しそうな姿が見られています。

などの話がありました。

質疑応答では、建設的な質問や多様な意見があり、充実した講演会になりました。

講演会の開催にご支援、ご協力を賜りました皆様へ感謝を申し上げます。

青少年教育部会長 加瀬 武正

# 令和5年度の防犯部会活動

## 防犯部会

令和4年度の防犯活動は、コロナ禍のこともあり控え目に進んでいましたが、令和5年度は自衛隊が解除され、社会活動も通常に戻ってきたので、各地区での防犯パトロールや見守り活動などが活発に行われるようになりまし。

秋には、千葉県全体で推進されている「安全で安心なまちづくり旬間」の出発式を、10月9日(スポーツの日)に開催しました。

当日はあいにくの雨天でしたが、船橋警察署は船橋駅北口前で、船橋東警察署は習志野台商店街のJ.U.J.U広場において、習志野台中学校の吹奏楽部による演奏もあり、数多くの参加者を見ました。

市民の防犯意識向上のため、船橋市の好ましからぬ被害状況(県内第2位の被害額4億円超)の減少に向けて、各地でも防犯チラシや関係グッズ等を配布し、振り込め詐欺防止のキャンペーンを展開、また、市民安全推進課と年金支給日に郵便局前での振り込め詐欺防止のチラシやグッズの配布を行いました。

犯罪は「電話de詐欺」だ

令和5年度は部会を4回開催し、各案件の審議や情報交換を行いました。今後とも船橋市の安全・安心を守るため、更なる活動を推進していきたいと思っています。



「安全・安心旬間出発式」の様子

部会長 村田 佐江子

# 千葉港海岸船橋地区海岸保全施設の耐震対策・老朽化対策工事が進んでいます

## 船橋地区海岸保全施設耐震化促進協議会

高潮や津波による自然災害から生命や財産を守る海岸保全施設(海老川水門や護岸等)の整備が国土交通省の行う直轄事業により、令和15年度の完成を目指して進められています。

現在事業区間約2300mのうち、日の出2丁目の約100mが完成し、工事前よりも約2.2m高い施設が整備されています。

船橋市の沿岸部には、市役所等の公共施設や子どもたちの通う学校、そして住宅や企業が密集しています。高潮や津波から守られてきました。

しかし、海岸保全施設の多くは整備から50年以上が経過し、耐震性の低下や老朽化が進んでいます。現在計画中の事業のほか、学校教育環境の充実、ゼロカーボンシティ推進等について述べられ、最後に町会・自治会の市民力が市民生活を支えており、地区連、民生委員、地区社協との連携が大きな力になることとお話を締めくくられました。

この講演を聴かれた方



「水神祭」が開催されました

# 「水神祭」が開催されました

## 湊町連合自治会

毎年4月3日に行われている「水神祭」が、今年も船橋漁港において開催されました。当日はあいにくの雨でしたが、無事に予定通り実施され、海上安全と豊漁を祈願しました。

この祭りは昔、船橋浦の沖合で行われ、海上安全と豊漁を祈願し、海上(現在は船橋漁港)に沢山の船を集めて行うことから船祭りとも呼ばれています。

船橋の漁師にとっては、冬の漁が終わるこの日から、湊町自治会連合会を核とした「船橋地区海岸保全施設耐震化促進協議会」を設立し、海岸保全施設の耐震・老朽化対策の早期実現に向けた要望活動等を行ってきた結果、令和4年3月に国土交通省の行う直轄事業として実施されることが決定し、現在着実に工事が進んでいます。

当協議会では、令和5年12月に斉藤国土交通大臣、矢倉財務副大臣に対し海岸保全施設の早期整備を要望しました。

一刻も早く海岸保全施設が完成し、皆さんが安心して生活ができるよう、引き続き活動していきます。

会長 大塚 健吉

# 創立40周年記念祝賀会を開催

## 習志野台・西習志野地区自治会連合協議会

習志野台・西習志野地区自治会連合協議会(習自連)創立40周年記念祝賀会を1月21日に開催しました。

当日は、市長はじめ来賓、橋市長松戸 徹様をはじめ、元内閣総理大臣・現衆議院議員野田佳彦様ほか3名の皆様に祝辞をいただき、また、ご来賓の皆様及び習自連役員のご紹介をいたしました。

次に、今回創立40周年を記念して発行した「記念誌」の紹介を行いました。本記念誌には、習自連を支えて



「千代の寿」の舞

下さっている組織の代表の方々と並びに先輩方からいただいたご祝辞及び「習自連だより」既刊78号分を全て掲載しました。まさに習自連40年の歴史が詰まっています。

次に、記念講演として松戸市長に「船橋市の現状と将来」という題目でお願いしました。お話しは、船橋市の歩みからはじまり、市民意識調査では市への定住意向、住み心地、愛着の程度が極めて高いことを具体的に

「贈らない」「求めない」「受け取らない」の寄附禁止ルールなどの周知によるきれいな選挙の推進とともに、選挙の際には「投票を棄権しない」というもう一つの「正しい」の推進も重要であると思えます。

私たちが明るい選挙推進協議会を選挙管理委員会と共に引き続き、明るい選挙の実現、投票率の向上のために努力してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をより強くお願いします。

船橋市明るい選挙推進協議会 船橋市選挙管理委員会 (047-4366-2736)

「明るい選挙」とは、投票する人が買収などに惑わされず、情実・利害などにとらわれることなく、自由な意思で投票し、選挙が公正に行われて、私たちの意思が政治に正しく反映される選挙のことをいいます。

会長 朝比奈 敏勝

春の漁がはじまる節目として重要な意味をもつ祭りで、水神祭は現在、船橋市漁業協同組合が主催し、その地域の各町会(船町、台町、寺町、仲町、東納谷、西六、西七、西八、海神町、日の出、浜町、秋津香澄)が、それぞれに船を出し、大漁旗をかかげ漁師が乗り込み、祭壇を設けた船を中心にして、そのまわりで各町会の船がとりかこむようになり、儀式が行われます。

この水神祭の歴史については、徳川家康にかかる御菜浦から推測して江戸時代初期と考える説と、文政7年(1824年)の三番瀬沖の猫実村との漁場争いと結びつける説があります。現在これに関する資料が乏しくはつきりわかりませんが、江戸時代からの伝統を

間、船上では、船橋で獲れたバカガイ・魚等のご馳走で酒宴を開きます。閉会後と各町会の代表者が、漁協の船に乗り、沖に出て大漁と五穀豊饒を祈願し、神前に奉納した、米、麦、粟ひえ、大豆を海に投げ種まきを行います。

お詫びと訂正

第179号(令和6年1月発行)において、左記のとおり誤りがありました。訂正のうえお詫びします。

2面「視察研修 青少年教育部会」の記事中、「小学校」とあるのは「中学校」に、「中学校」とあるのは「小学校」にそれぞれ訂正いたします。

編集後記

昨今の世界情勢は令和4年に発生したロシアによるウクライナ侵攻は止むところを知らず、更には10月におきたイスラエルとハマスとのパレスチナ自治地区ガザでの戦闘は激化し予断を許されない状況にあります。

一方国内では、今年の元旦早々から、石川県能登地方を震源とする、強い地震と大津波が発生しました。

この震災により、尊い命を落とされた方々のご冥福をお祈りしますと共に、被災された皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。

親戚や友人と祝っていた人もいたであろう、元旦の夕方、テレビ画面に「津波危険」「にげて!」の文字が繰り返して映り、心が痛みました。

一日も早く「戦禍」と「災害」の世が去り、総ての人々がこの不安から解放されるよう、切に祈念致します。

Y生



めいすい君

# 明るい選挙推進運動について

私たちの代表を選ぶ選挙は、私たちの生活と密接な関係があり、有権者一人ひとりが政治や行政について十分な関心と正しい認識を持ち、安心して政治を任せられる代表者を選び出す「目」を持ち、貴重な一票により、積極的に投票に参加することが大切です。

「贈らない」「求めない」「受け取らない」の寄附禁止ルールなどの周知によるきれいな選挙の推進とともに、選挙の際には「投票を棄権しない」というもう一つの「正しい」の推進も重要であると思えます。

私たちが明るい選挙推進協議会を選挙管理委員会と共に引き続き、明るい選挙の実現、投票率の向上のために努力してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をより強くお願いします。

船橋市明るい選挙推進協議会 船橋市選挙管理委員会 (047-4366-2736)